

# 中野区教育委員会会議録

令和3年第19回定例会

令和3年7月2日

中野区教育委員会

令和3年第19回中野区教育委員会定例会

○日時

令和3年7月2日（金曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時31分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

教育委員会委員 岡本 淳之

教育委員会委員 村杉 寛子

教育委員会委員 田中 英一

○出席職員

教育委員会事務局次長 青山 敬一郎

子ども・教育政策課長、学校再編・地域連携担当課長

濱口 求

指導室長 齊藤 光司

学校教育課長 松原 弘宜

○書記

教育委員会係長 香月 俊介

教育委員会係 伊藤 芽依

○会議録署名委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 田中 英一

○傍聴者数

5人

○議事日程

1 報告事項

(1) 教育長及び委員活動報告

① 6月25日 緑野中学校訪問

(2) 事務局報告

① 令和3年度海での体験事業の実施について（学校教育課）

## ○議事経過

午前 10 時 00 分開会

入野教育長

定足数に達しましたので、教育委員会第 19 回定例会を開会いたします。

議事に入ります。

本日の会議録署名委員は田中委員をお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりでございます。

日程に入ります。

報告事項に入ります。

### <教育長及び委員活動報告>

入野教育長

初めに教育長及び委員活動報告をいたします。

事務局からご報告願います。

子ども・教育政策課長

令和 3 年 6 月 25 日金曜日、緑野中学校、学校訪問に入野教育長、伊藤委員、岡本委員、村杉委員、田中委員がご出席されました。

以上でございます。

入野教育長

それでは各委員から報告、発言がございましたらお願いいたします。

田中委員

緑野中学校の訪問に参加させていただきました。

コロナ禍の中でいろいろ大変な制約のある状況ですけれども、生徒たちが大変落ち着いて授業を受けている姿を見て、学校がしっかり運営してくださっているのだなと強く感じました。

校長先生のお話からも昨年のいろいろな大変なことを乗り切って、今、父兄の方から学校が信頼を受けていて、いろいろな意味で連携がしっかり整っているということを報告されていたのうなずけるなという感じでした。

授業視察では、国語でプレゼンテーションをしようというところを少し見てきましたけれども、誰に何をどんなふうに伝えたいかというのがテーマで、なかなかグループワークはしにくいとおっしゃっていましたが、少し教室のテーブルを離して各グループに

分かれて、しかもタブレット端末を上手に使って、私が見た班は差別について、クラスのみんなに考えてもらいたいというのをテーマに、ちょうどアンケートづくりをされていました。タブレット端末をただ使用するだけでなく、どんなサイトを使って、どんなことを調べたのかということを中心に記録するように先生が伝えていて、上手に配布された機材を使って授業を組立てておられるのだなということを感じました。

一方、校長先生からのお話の中で、ちょっと想定外のこともあるというお話があって、タブレット端末を使った提出物を提出するように生徒に伝えると、夜の12時前に提出物を送る生徒がいたりして、その辺は今後、教員間の中でもいろいろそういった状況を共有して対応していきたいということをおっしゃっていました。

使えばまたそういった問題というのはいろいろ出てくるとは思いますけれども、そういうのは一つ一つ対応していくことで、さらにタブレット端末を上手に使っていただけるのかなと強く感じたところです。

以上です。

伊藤委員

私も同じように緑野中学校へ行ってまいりました。

全体を通してなのですけれども、コロナ禍の中で我慢していることとか、ふだんだったらできることができないということがたくさんあると思うのですが、その中で子どもたちも慣れてきたこともありますし、たとえできないことが多くても、学校が貴重な場だというようなことで、すごく学校生活大事にしているのだなと感じました。

ただ、やはり一方で思い切り何かをする、エネルギーを発散する場というのが中学生にとって、すごく大事だと思いますので、そこをどんな形で補っていくか、課題はまだまだあるなと思いました。

またいろいろなことで、お互いの関係が悪くなるみたいなことを懸念することがあるわけですけれども、新型コロナウイルスの感染ということがいつどこに起こるかわからない不安感というものもありますので、人間関係も難しさがあるのかなと思いますが、そういったことも心配ない形で、子どもたちとても仲よくしているということで、安心いたしました。

以上です。

村杉委員

伊藤委員のご発言に加えまして、新型コロナウイルス感染症に罹患してしまった子ども

がいる場合、その後学校に行って、ほかの子どもたちとうまく過ごせているのか心配しておりましたが、校長先生のお話を伺いますと、どの学校もそういう際は先生方がよく対応してくださっているとお聞きし、感心いたしました。

岡本委員

3人の委員の方にご報告いただいたとおりののですけれども、私がちょっと心配していたのが、報道で、コロナ禍で子どもが結構落ち込んでしまったり、鬱々としている状況があるというのを見ていましたので、緑野中学校さんはどうなのかなと思っていたら、生徒のアンケートで95%の子どもは学校が楽しいとおっしゃっているということで、すごく高い数字だなと思って安心しました。

子どもの安心・安全の居場所となっていること、本当に素晴らしいことだと思うのですけれども、残りの5%の子どものことも気に留めないといけないのかなとも思いました。アンケートの詳しい結果は伺っていないので、どういう回答だったかはわからないのですけれども、中野区の教育ビジョンでも一人ひとりを大事にしていると思いますので、5%の生徒さんが0%になるまで、学校も教育委員会、行政もできることをしていかなければいけないのかなと感じました。

以上です。

入野教育長

ありがとうございます。

それでは私のほうから。私も実は緑野中学校の再編の当時におりましたものですから、その後、久しぶりに学校を見させていただいたという思いでございます。10年ちょっとたったという学校ですけれども、やはりそうやってきますと随分落ち着いてきて、いい意味で子どもたちがその人数の中で、いい教育活動ができているなとも思いましたし、先生方も大分メンバーが替わっておりますけれども、協力性も高く、一生懸命やっていただけているなとも思いました。新しい日常が、もう日常になってきつつある様子が久しぶりに見られましたので、これを支えていくことが私たちの役目かなと思っております。

タブレット端末については他の委員の方々からお話がありましたように、活用の幅が広がったかなと。体育の授業の中でもそれぞれの演技というのでしょうか、撮ってそれをまた参考に授業が展開していくような取組も見られましたし、様々な場面で活用されている様子が見られたなとも思います。年齢層にかかわらず、ほぼ全員の先生方がICTを活用していたのもやはり素晴らしいなとも思いました。

もう一つは、昨日、社会を明るくする運動のオープニングセレモニーがございまして、中野サンプラザの前で協賛団体等と、スタートを切りました。通常ですと中学校を会場に、これからいろいろな地域ごとの活動が行われているのですが、昨年も今年もそれはないということで。ただ中学生も地域を考えるいい機会になりますし、また犯罪防止ですとか非行防止ですとか、それから自分でできることということも考えるいい機会になりますので、作文コンテスト等には参加する予定にはなっているようでございます。

その強調月間だけが運動ではないと思いますけれども、そういうことで中学生のほうもよろしくというご挨拶をしてみました。

以上でございます。

伊藤委員

教育委員としての活動ではないのですが、小学校の英語の授業を参観する機会がございました。英語活動という形での小学校の授業は何度か拝見したことがあったのですが、今回教科書が定められて、教科になったの英語活動は初めての見学でしたので、とても印象的でした。

ちょうど中学1年生がこの時期にするような内容をもうしていましたけれども、中学生とは全然違う子どもらしい学びといいますか、できるかできないかを気にしたりとか、勉強として身につけなければいけないプレッシャーとか、そういった中学生が感じやすいようなところではなく、自然に自分たちの持っている外来語の知識と英語を結びつけるような形での学習が進んでいて、小学校で教科になることの意味というのを改めて感じました。とてもすばらしい授業で、子どもたちはタブレット端末を使って好きな国のことを調べたり、調べたことを英単語で何というのかを調べたりしながら、英作文をしていました。

ただ、すごくすばらしい授業でしたけれども、内容が中学生のレベルなので、そういった英語の授業に苦手意識を持たれる先生も、ほかにはもしかしたらいらっしゃるのかなということも思いました。ということ踏まえますと、やはり先生方へのバックアップといえますか、研修の機会というのをかなり意識してバックアップしていく必要がすごくあるのだなということを感じました。いい形で英語教育が進むといいなと思いました。

以上です。

入野教育長

他にご発言ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ございませんので、委員活動報告を終了いたします。

#### <事務局報告>

入野教育長

続いて、事務局報告に移ります。

事務局報告の1番目「令和3年度海での体験事業の実施について」の報告をお願いいたします。

学校教育課長

それでは、「令和3年度海での体験事業の実施について」ご報告いたします。

この事業は平成24年度から実施をいたしまして、今年度で9回目を迎える事業でございます。

資料に沿ってご報告いたします。

1番、「事業の目的」でございます。海の特性を生かしたプログラムを通じて、泳力の向上や危険を回避する技術を取得するなど、生きる力の育成を含めた自己の可能性を伸ばすとともに、学校とは異なる環境の中での集団生活を通じ、互いを尊重し合う心を育て、学校生活の向上に資するものでございます。

2番、「事業の内容」でございます。実施の場所は千葉県南房総市の岩井海水浴場。実施内容は記載のようなレスキュー講習、救命用具講習、ボディボードなどでございます。

小学校4年生からの参加といたしますので、体力等に見合った、実践できる内容でございます。

3番、「参加者負担」は1万5,000円。就学援助受給世帯につきましては5,000円でございます。

4番、「対象児童」は、区立小学校4・5・6年生で参加を希望する児童でございます。

5番、「定員及び参加申込人数」につきましては、定員が1回90人掛ける6回。また1回70人掛ける2回。合計8回の680人。参加の申込み人数は642人でございます。

これは当初1回90人を6回実施することによりまして、定員を540名としておりました。しかしながら募集開始と同時に、定員を上回る参加申込みがございましたため、急遽実施回数を2回新設いたしまして、定員数を増やしたものでございます。

6番の「実施日程」は資料のとおりでございます。



なお、括弧書き記載の学校でございますが、定員を超過した回がございましたので、当該応募の皆様には別日程の打診をいたしました。したがって、最終的にはこの所属のとおりとなっております。

裏面をごらんください。

7番の「受託事業者」でございます。安全な実施のために水泳指導、生活指導、看護業務それぞれ専任の事業者にて委託をして実施をいたします。具体的には記載のとおりでございます。

8番、「教員向け研修の実施」でございますが、宿泊または日帰りとしたしまして、資料記載のような内容を考えてございます。参加につきましては、今後対象の方に案内を行う予定でございます。

ご報告は以上でございます。

入野教育長

ただいまの報告につきまして、ご発言がありましたらお願いいたします。

田中委員

この事業に、私も2回視察に行ったことがあるのですが、目的のところで「学校とは異なる環境の中」と書いてありますけれども、ほかの学校の生徒さんと一緒になって2泊3日というのは大変いい経験だなと強く感じました。

今回の報告ですごく参加希望者が多かったということですが、やはり昨年の事業がよかったといったことが伝わって広がっていったのでしょうか。

学校教育課長

補足をいたしますけれども、実は昨年度はコロナ禍ということで中止をいたしました。その関係がございまして、昨年参加を希望されていた方が今年期待をされていたところもございます。

それと、正確に集計をしたわけではございませんけれども、こちらの募集をしまして、よくこういういろいろ難しい時期に事業を企画し実施してくれたという、そういう声も多々頂戴をしているところでございます。

それからもう一つ考えられますのが、今年度からインターネット申込みというのを始めてまいりました。おととしまでは、学校のほうに申込書を紙で配って回収をするというやり方をしてございましたけれども、今年度からはスマートフォンやパソコンからも申込みを受け付けましたところ、担当のほうでは、ほとんどがそちらのほうの申込みだったと聞

いてございます。

田中委員

区民から大変期待されている事業だと思っておりますので、安全に十分注意してぜひよろしく  
お願いしたいと思っております。

伊藤委員

私も一昨年でしょうか、参加させていただいて、やはり多様な経験ができるということ  
ですごく貴重なことですし、子どもたちも、本当に楽しそうでいい事業だなと思っていま  
す。今回多数の応募がありましたことは、コロナ禍の中で少しでもチャンスがあればとい  
うご期待が強いのではないかなと痛感しました。

2点あるのですけれども、ただそうした中ですけれども、期待と同時に安全ということ  
についてももちろん期待というか、気にされているというか、実際に安全を守らなければ  
いけないというのが第一なので、今後の様々な状況を見ながら慎重に考えていく必要もあ  
るのだろうなと思っています。

特に開催時期も7回、8回ですと、今度台風ですとか天候のことですとか、様々なこと  
も気になってまいりますし、いろいろな状況を見て、無理のない実施にさせていただければ  
ありがたいなと思えました。

2点目は、今回受託事業者が専門分野で分かれているということで、水泳の指導ですと  
か専門知識がとても生きる部分があるなど見学しても思いましたので、分担されることは  
いいことかなとは思いますが、一方で分担しますと、やはりどうしても間に入るよう  
な、隙間ができてしまうとか見落としができてしまうとか、そういったことも生じがちの  
ように思いますので、ぜひそういったことがないように、今後も受託時事業者をどんなふ  
うに決定していくのがよいのかも含めて、いろいろと検討を続けていただければありがた  
いなと思えました。

以上です。

岡本委員

我が家の小学4年生の子どもも楽しみに申込みをさせていただきました。やはり伊藤委  
員がおっしゃったみたいに、なかなか体験ができないご時世なので、大変ありがたい機会  
だと思っています。

ただ、やはり新型コロナウイルス感染症の話もありますので、中止されるかどうかの要  
件というか、基準というか、そういうのをお考えのことがあれば教えていただければと思

います。

学校教育課長

申込みの際に、新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合がございますということは明記をしております。

子ども現在の段階では、いわゆる緊急事態宣言、こちらが出てきた場合には通常県境を越えるような移動、これについては自粛というようなものがついてくる可能性が多いと思いますので、中止をせざるを得ないのかなと考えてございます。

その他の場合というようなことにつきましては、現在のところ、感染対策をしっかり行ったところで、可能な限り実施をしていくという方向では考えてございますけれども、先ほどのご発言もございましたけれども、今後、想定ができないような事態や、また新型コロナウイルス以外の別途の状況が発生したときには、速やかに判断をし、ご通知差し上げたいと考えてございます。

岡本委員

本当に難しい判断になると思うのですが、よろしくお願いします。

別の話といたしますか、先ほど田中委員からの質問でご回答があった、スマートフォンで申込みができるようにしたら増えたというのは、ほかの部分でも、学校経由ですと先生も負担になりますし、子どもがプリントを出す出さないという問題は本当に大きいので、なかなかそれで連絡が滞ってしまうところもありますから、ぜひ、できるところはどんどんそういうICTを使って保護者とのやり取りをしていただければなと思いました。

以上です。

村杉議員

みんな恐らくすごく楽しみにして、何校か学校の子どもたちが集まりますので、基礎疾患のある子どもたち、特に心臓病ですとかぜんそくですとか、同行される看護師さんに各学校の養護教員の先生からしっかり申送りをしていただくようにお伝えしていただいたらよろしいかと思えます。

よろしく願いいたします。

入野教育長

他にご発言ございますでしょうか。

様々、保護者の方に対する説明会もあるのですよね。

学校教育課長

なかなか集合によるというふうなところが限られているところがございますので、おとといに細かいしおりを保護者様のほうに発送いたしまして、まずそちらに目を通していただき、そしてご質問をメール等でお受けをしております。さらに明日なのですけれども、9時から1時半まで、個別の相談会を実施するというところで、保護者様の必要に応じた形で、対面でご相談を差し上げたいと考えてございます。

入野教育長

その折にいろいろな情報も、また保護者の方から入るかなと思っております。いずれにしても十分安全を図らなければいけない事業でございますので、状況に応じて適切な判断をしていきたいなどはっております。またそのときにはご相談させていただくこともあるかと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

それでは他にございませんので、本報告は終了いたします。

事務局からその他報告事項はございますでしょうか。

指導室長

令和2年度に発生いたしました都内公立学校における体罰実施把握の結果について、口頭にてご報告をさせていただきます。

この調査は東京都教育委員会が毎年実施し、結果を公表しております。

昨年度、都内公立小中学校で小学校では3件、中学校では4件、合計7件の体罰が報告をされております。

なお、本区におきましては、昨年度体罰は発生しておりません。

ご報告は以上でございます。

入野教育長

本報告にご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

田中委員

中野区ではなかったということで、先生方へのいろいろな情報がしっかり伝わっているのだなということで安心しました。

東京都の教育委員会のこの体罰というのは、こういうのが該当するというような基準といたのですか、そういったものがあつたら少し教えていただければと思います。

指導室長

体罰につきましては、各学校が調査を行っています。これは教職員、児童・生徒へは質問紙、そして聞き取りの調査ということで行っております。

学校のほうから挙がってきた状況をもとにしまして、大きく体罰、そして不適切な行為、そして指導の範囲ということで内容のほうを精査してございます。

体罰におきましては、やはり子どもへの暴力ですとか、ひどく子どもたちを傷つけるような行為等があった場合は体罰という判断をして、都のほうにも挙げ、内容を精査した上で、最終的に体罰ということで判断をしてございます。

田中委員

もう1点なのですけれども、学校から報告が挙がっていくときというのは、例えば父兄からあったとか、どういう経過で体罰があったということの調査というのはあるのでしょうか。

指導室長

かなり細かく状況を確認いたします。また周りにいた児童・生徒にも必要に応じて聞き取りをしたりということで、管理職が中心となりまして、きちんとした調査を行った上で、報告を挙げるようにさせております。

入野教育長

基本、今言いましたようにアンケートをとるといふことのほかに、保護者等から教育委員会にお話が入る場合もありますので、それも全部含めて、事例として検討はするということでございます。

岡本委員

中野区ではないということなのですけれども、中野区では今後もこういう問題に気をつけますよという意味でも、保護者にそういう情報を発信してもいいのかなと思いました。学校だよりでも結構ですし、前も熊本の体罰の調査をご報告したときに触れたのですけれども、やはり子どもが学校での状況を気にして言わないでという状況もあると思うのです。保護者もそもそも学校に言いたくないと思っている状況がもしかしたらあるかもしれない。そういった声もすくい取れるような場所、学校を経由せずとも教育委員会のどこか置くとか、関係機関を連携させるとか、そういった窓口もご検討いただければなと思いました。

以上です。

指導室長

具体的な窓口と申しますか、教育委員会指導室のほうが多様な保護者からの連絡等は常に受けておりますし、万が一保護者の方からそのような情報が入った場合は、指導主事が

すぐ学校に行く等で事実の確認をした上で、指導が必要な場合には適切な指導、そして子どもたちのケアというのを行ってまいりたいと考えております。

入野教育長

直接、体罰のことが入っているという報告は受けておりませんが、SNSの相談ですとか電話相談ですとか、そういう窓口は常にオープンにしておりますし、子どもたちにもそういうところにも相談できるということで通知はしております。

伊藤委員

中野区立の教育相談室もそういったご相談を受けてくださると思いますし、子どもたちも親御さんもスクールカウンセラー、週に1回で、ある程度、中の人のようにありながらも外のような人のようでもあるというところで、スクールカウンセラーのほうにちょっとどうしたものかと相談するという選択肢もあると思いますので、このことはこの窓口、このことはこちらの窓口ということではなくて、総合的にいろいろな人が子どものことを気にかけて、見守るような体制であるということが大事だと思いますし、そうなっているということを、また指導室のほうからも発信をしていただけるといいのかなと思いました。

以上です。

入野教育長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

他にご発言ございませんので、本報告は終了いたします。

ほかに報告はございますでしょうか。

指導室長

先日、千葉県八街市で大きな交通事故がございました。本区でも全ての幼稚園、小中学校に改めて安全指導の徹底を図るよう、メールにて通知を発出いたしました。

学校や園と連携をしながら、今後も交通事故防止に向け、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

伊藤委員

多分していただいていると思うのですが、子どもや保護者の方が歩いていて気づくような。八街市の事故もガードレールということも何か関連していたということも少しニュースで拝見したのですが、以前にあった崖が崩れてしまったという事故も、その前に亀裂を発見した方がおられたりですとか、誰かが気づいているということはあるのかなと

思いますので、危険地域等、気になることについて、夏休み前でもありますので、改めて地域を見直していただいて、保護者の方、子ども等々から意見を聞くような機会が設定されてもいいのかなと思いました。

以上です。

入野教育長

P T Aや警察等にご協力いただいて、定期的に通学路は点検しているのですが、また今回のことも受けて、お話していきたいなと思っております。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは最後に事務局から次回の開催について報告を願います。

子ども・教育政策課長

次回の教育委員会は7月9日金曜日10時から当教育委員会室にて開催いたします。

以上でございます。

入野教育長

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして教育委員会第19回定例会を閉じます。

ありがとうございました。

午前10時31分閉会